

## 随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和5年度新門司沖浚渫土砂利活用検討業務				
業 務 概 要	業 務 名 称	業 務 内 容	単 位	数 量	摘 要
業 務 概 要	新門司沖浚渫土砂利活用検討業務				
	計画準備	計画準備	式	1	事前協議1回 中間報告1回 最終報告1回
	脱水固化体の活用検討	脱水固化体の強度把握方法の検討 結果の解析及び特性評価	式	1	
	改質土の活用検討	実施工を想定した改質土の品質管理方法の検討 吸出し防止層施工時の水圧変動に関する遠心模型実験 実験結果の解析及び特性評価 現地施工への適用性確認のための試験 施工方法の検討	式	1	
	協議・報告	協議・報告	式	1	
	協議・報告	協議・報告	式	1	
	協議・報告	協議・報告	回	3	
成果物	業務完成図書作成	式	1		
契約担当官等の氏名並びに所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局北九州港湾・空港整備事務所長 北原 政宏 九州地方整備局北九州港湾・空港整備事務所 北九州市門司区西海岸1-4-40				
契約年月日	令和5年9月13日				
契約業者名	令和5年度新門司沖浚渫土砂利活用検討業務沿岸技術研究センター・日建設計設計共同体 代表事業者 一般財団法人沿岸技術研究センター				
契約業者の住所	東京都港区西新橋一丁目14番2号				
契約金額	30,140,000 円(税込み)				
予定価格	30,151,000 円(税込み)				
随意契約によることとした理由	<p>本業務を的確かつ円滑に実施するためには、脱水固化体及び改質土に関する豊富な知見や脱水固化体及び改質土を建設材料として港湾構造物等へ利用するにあたっての豊富な技術の知見、さらには有識者との調整能力を有している必要がある。</p> <p>以上のことから、プロポーザル方式により、契約内容並びに契約手続きを公示し、参加表明業者においては、予定技術者の経験及び能力(技術者資格等、業務執行技術力)、実施方針(業務理解度、実施手順等)、特定テーマに対する技術提案(的確性、実現性)の提出を求めるとともに、予定技術者へのヒアリングを行うことにより、専門技術力の確認、本業務の遂行能力等を評価したものである。</p> <p>建設コンサルタント等の特定手続きに基づく審査の結果、「実施工を想定した改質土の品質管理方法の検討における課題と対応策」についての着眼点や問題点、具体的な解決方法等を評価し、令和5年度新門司沖浚渫土砂利活用検討業務沿岸技術研究センター・日建設計設計共同体が最適であると判断されたことから、上記業者と会計法第29条の3第4項に基づき随意契約を行い、円滑な遂行を図るものである。</p>				
業務場所	—				
業種区分	建設コンサルタント等				
履行期間(自)	令和5年9月13日				
履行期間(至)	令和6年3月15日				
備考					